

# 片瀬のぞみだより

## 片瀬のぞみ幼稚園

2025年2月号

家庭通信 2024 No.23



### 「帰ってこれる場所がある」



1/11(土)には、天気にも恵まれてお父さまたちとおもちつきを開催することができました。たくさんのご参加ありがとうございました。お父さまの餅つきに合いの手を入れるたびに繋がる大切さ、続けていく大切さ、なによりも神さまからの恩恵の深さを覚えることができました。特に5日目の餅つきでは、今年度でラストのおもちつきになるお父さまとついたので何も語らずただただもちをつくだけですが感謝と寂しさがあふれ出し、合いの手をもってメッセージとさせていただきます。そんな素敵な思いはこれだけで留まらず、1月19日(日)には「二十歳を迎えた卒業生の成人祝福式」の礼拝が行われました。12月の後半に、名簿から辿って今から14年前に幼稚園を巣立った20名の方々(今年は第61期卒業なので)へお誘いのハガキを出しました。メールや電話で返事をもらい、今年は、7名の方が礼拝に出席してくれました。礼拝前には保護者の方々も顔を出してくださり、久しぶりの再会を喜ぶ時となりました。礼拝堂に入るなり、子ども・・・青年たちから「うわ～、なつかしい。」と。そして、長椅子に座るとなんと3名でパンパン、「幼稚園の時は、6人で座ってたんだよ。」と伝えると「え～っ！」と驚いていました。礼拝では、知らないながらも讃美歌を歌ったり、説教を姿勢よく聞いたりその後ろ姿は成人そのものでその一つ一つの立ち振る舞いに「大きくなったな～」と思うばかりでした。礼拝後には、成人祝福式が行われ、牧師より一人ひとりに祝福が与えられ、教会よりプレゼントが渡され、自己紹介をしてもらいました。さらに式後には教会員の方々とお茶を頂きながら歓談の時もたれ、そこでも成長した姿を存分に発揮していました。その後は、久しぶりに園舎の方へ・・・ここからはみなさんのご想像通りのリアクションのオンパレードとなりました。トイレを見ては「なにこれ？ちっちゃーっ。」、ロッカーを見ては「うわー、なつかしい。」など幼稚園の何を見ても「ちっちゃー。」か「なつかしい。」と言いながら幼稚園中を見回していました。久しぶりに一緒にコマ回しもしました、カメやジャングルジムを眺めながらくだらない話や思い出話し(やっぱりお泊まりのことが多かったです)をしました。途中でまりこ先生の曲を流すと「あっ、これ覚えてる・・・うわ、やべえ、なんだこの気持ち。」と戸惑う姿も。さらには、「先生って、すごいよな。ずっと世話してくれたし、ずっと遊んでくれてたもんな。」と。もう、充分でした、そんな言葉や態度を聞かされ、見させられてはこちらが「やべえ、なんだこの気持ち。」になってしまいます。そして、最後は友だちのように「せんせい、またねー。」と手を振って帰っていきました。いや、また巣立っていきました。

「頑張れ。」とか「これから社会にでたら・・・。」みたいな大人からのアドバイスなんて一つも思いつきませんでした。思うことは、”大きくなった姿を見せてくれてありがとう、また、いつでも帰っておいで”です。来年も再来年もいつまでも、大きくなって帰ってくる子どもたちを神さまと一緒に待ち続けたいと思います。

つい先日も、小学2年生のTくんが久しぶりに幼稚園に顔を出してくれました。とても懐かしかったようで先輩風をふかしながら楽しそうに遊び、次の日も来てくれました。この幼稚園に先生として帰ってきてくれたり、保護者になって帰ってきてくれたり・・・喜びです。